

毎週日曜発行
2024 11/17

こども新聞 週刊がほピョンプレス

河北新報社 TEL.022-211-1111(月曜から金曜)



こども記者が取材

ニュース



お茶を使った仙台の和菓子を学ぶ

仙台を代表するお菓子と言え、何を思い浮かべるかな？ 仙台市上野山小のこども記者、大沼絢音さん(10)川嶋彩恵さん(10)村岡富季さん(11)の3人が、多くの人に親しまれている和菓子「喜久福」を製造、販売するお茶の井ヶ田(仙台市青葉区)を取材したよ。
(8面に関連記事)

喜久福は、こしあんどクリームを餅で包んだ大福です。こども記者の3人は、お茶の井ヶ田が運営する観光施設「秋保ヴィレッジ」(太白区)を訪れ、商品部部长兼生産部部长の倉田康幸さん(51)に「1番人気は、やはり抹茶クリームです」と教わりました。

抹茶の次は、ずんだ、



「和の文化 世界に」挑戦

生クリーム、ほうじ茶の順で人気だそう。「全部合わせて、1日約5万個売れる看板商品です」。倉田さんの話に、3人は驚いた様子でした。

2020年に人気アニメ「呪術廻戦」の1場面でも取り上げられたことで、知名度が上がりました。増産するため、秋保ヴィレッジの敷地内に、新工場を建設中です。



喜久福を試食しながら、倉田さん(左端)の話を聞くこども記者たち

お茶の井ヶ田は喜久福の他にも「食べるお茶」をコンセプトに、さまざまなお菓子を作っています。

「どんな時に新商品を出し付きますか」。記者の質問に、倉田さんは「風呂に入っていたり、散歩をしていたり、仕事の時間以外でリラックスしている時が多いですね」と答えました。車の運転中にアイデアが湧き、車を止めてメモしたこともあるそうです。

「お茶は苦い」と言うこども記者には「ガムシロップや牛乳を入れるといいです。温かい抹茶とバニラアイスの組み合わせもおすすめ」とアドバイスをくれました。

最近健康志向が高まり、海外で緑茶を飲む人が増えていきます。「お茶屋がお菓子を作るという挑戦をして、大きく成長しました。これからも新しい挑戦を続け、お茶にとどまらず、和食文化を世界に広めたいです」。倉田さんの言葉に3人は大きくうなずきました。



今週の注目ニュース

◇20日(水) ピザの日
ピザ協議会(東京)が2013年に制定しました。19世紀のイタリアの王妃マルゲリータの誕生日にちなみます。王妃はトマトソースとモッツレラチーズを使った定番ピザを気に入り、その名の由来になりました。

ページの紙面

- 2面 みんなのギモンにこたえるモン
- 3面 3分チャレンジ
- 4・5面 わが校わがまち スクール通信
- 6面 くわしく学べる! こども英語
- 7面 投稿特集
- 8面 障害のある子どもを支える施設を取材

きょうのテーマ

みんな思い出

みんな動こう

みんな知りたい

みんな守ろう

みんなトモダチ